

あの味
この味、
コザの味

沖縄市ご当地グルメ

半世紀以上続くお店に、人気急上昇中のお店。
沖縄市ならではの、たくさんの「おいしい!」を紹介します。



01 かぼちゃサターアンドン

【かぼ天の店 なかそね】
沖縄市胡屋6丁目7-6

厳選したかぼちゃを使い、お店で一個一個手作りしたかぼちゃサターアンドン。保存料も着色料も一切なしの滋味深い味わい。毎日すぐ売り切れてしまうほど人気です。

02 チャーリーライス

【チャーリー多幸寿】
沖縄市中央4丁目11-5

半世紀以上の歴史を持つ老舗タコス店。タコスはもちろん、オリジナルソースをかけたご飯にミートと2種のチーズがのったタコライスも絶品。自家製ソースは辛さも選べます。

03 ルビーセット (インドカレー)

【クリシュナ】
沖縄市久保田3丁目1-12
プラザハウス3F

インド人シェフが作る種類豊富な本場インドカレーと、焼き立てナンが有名なお店。2種類のカレーが選べサラダとドリンクが付くルビーセットは、ランチだけの人気メニュー。

04 豆腐ドーナツ

【宮里豆腐ドーナツ店】
沖縄市高原4丁目11-3

国産素材にこだわる豆腐店が作る、油で揚げない焼きドーナツ。自然の風味で体に優しいおやつです。ごま、クルミ黒糖などのレギュラーメニューのほか、季節限定ドーナツも。

05 サロインステーキとシュリンプのココナッツ衣揚げ

【サムズバイザシー泡瀬店】
沖縄市泡瀬1丁目41-15

船をイメージしたトロピカルな雰囲気の本格ステーキ店。炭火焼きステーキに、伊勢海老や海老フライなど、新鮮な海の幸を組み合わせた豪快なコンビメニューが人気です。

06 シナモンロール

【Brown Roll(ブラウンロール)】
沖縄市中央1丁目31-15

全粒粉を使ったもちもち食感のシナモンロールはここだけの味。砂糖とクリームチーズのフロスティングはほど良い甘さで、見た目よりあっさり。トッピングでアレンジが楽しめます。

07 タコス

【Tacos & Cafe Bar OCEAN(オーシャン)】
沖縄市中央2丁目15-2

復帰前創業の老舗カフェバー。当時はレストラン兼バーだったそう。人気のタコスは米国人から教わったレシピをそのまま引き継いだもの。自家製ソースをたっぷりかけて召し上がれ。

08 三枚肉そば

【アワセそば食堂】
沖縄市高原5丁目3-9

こだわりの出汁と自家製麺が人気の沖縄そば食堂。コクがあり、すっきり力強い出汁は、職人が毎日8時間以上煮込んでいます。オリジナルの平麺と細麺はぜひ食べ比べてみて。

09 アップルパイ

【なつのや製菓】
沖縄市高原4丁目12-23

看板商品のアップルパイは創業時からのロングセラー。「できたてを食べてほしい」と一日に何度も焼き上げています。やさしい甘さのフィリングは子ども大人も大好きな味。



沖縄市の銘品が大集合!

沖縄市の人々の愛情を
たっぷり受けて誕生した、
こだわりの品々が勢ぞろい!

ふるさと納税品 月桃とクチャの洗顔石鹸 & バスソルト

石鹸工房 ラクチャーナ
沖縄市中央2-6-46

沖縄素材の洗顔石鹸は月桃とクチャ(沖縄のクレイ)を配合。バスソルトは沖縄の5つの島の海水塩で作られ、島めぐりをするような気分でバスタイムを楽しめます。



ふるさと納税品 ギリシャ風マリネードチーズ

CHEESEANISTA(チーザニスタ)
沖縄市久保田3-1-9
プラザハウスショッピングセンター

ギリシャ風チーズであるティリーをハーブとともにオリーブオイルでマリネした逸品。ハーブやドライトマト、ガーリックなどが溶け込んだオイルは料理にも利用できます。



ふるさと納税品 新里 WHISKY

新里酒造
沖縄市古謝3-22-8

樽貯蔵泡盛13年古酒をベースにしたスピリッツとスコットランドのブレンドドウィスキーをブレンドしたウィスキー。泡盛由来と樽由来それぞれのバニラ香が複雑に絡み合う味わい深い1本。



ふるさと納税品 濃厚たまごプリン

美ら卵養鶏場
沖縄市南桃原3-36-18

自社の養鶏場で採れる新鮮卵をたっぷり使い、保存料を使用しないスイーツが人気の店。おきなわ島ふ〜どグランプリ2018で最優秀賞を受賞した濃厚たまごプリンは、まるやかで味わい深いと評判。



ふるさと納税品 木製ボールペン

かねせん工房
沖縄市宮里2-19-7
商品取扱店:
フラッグシップオキナワ
(プラザハウスショッピングセンター内)
沖縄市久保田3-1-12 (1F ロージャースアレナ内)

「伝統工芸士」の国家資格を持った職人が作る琉球松、センダンなど沖縄県産の木の木目を生かして作られたボールペン。木の種類や木目の違いで一つ一つ表情が違います。メンテナンスや部品交換にも対応しています。



ふるさと納税品 カフェオレの素 3種セット (加糖・無糖・黒糖)

豆ボレボレ
沖縄市中央2-7-46 1F

焙煎技術を競う世界大会で2位を獲得した店主が作ったカフェオレの素。牛乳か豆乳で4~5倍希釈するだけで、簡単に珈琲店のカフェオレが楽しめます。



コザビール

コザ麦酒工房
沖縄市中央1-24-13 2F

コザ麦酒工房の特製ビールは、素材や名前も沖縄にこだわって作られています。地域に根差した店として自店で醸造・樽詰めし、個性のある「ローカルビール」を提案しています。



琉球紅茶ティーバッグギフトセット

沖縄ティーファクトリー紅茶専門店
Tea House 沖縄
沖縄市山内3-23-15

日本人ティーブレンダーが作る琉球紅茶は、沖縄の赤土・緯度や強い紫外線の全てが紅茶畑に向くことから始まりました。口当たりは柔らかく、存在感のある洗練された風味には定評があり、大切な方へのギフトにピッタリです。



ふるさと納税品 ハチミツ

小浜養蜂場
沖縄市知花5-37-32

県内45カ所以上の養蜂場を持つコハマが作る、原液100%の国産ハチミツ。着色料・保存料を一切使わない自然の甘さが魅力です。



ふるさと納税品 特選詰め合わせ

自家製ハム・ソーセージ専門店TESIO(テシオ)
沖縄市中央1-10-3

TESIOの自家製ハムやソーセージ、オリジナルケチャップの詰め合わせ。「ドイツ製法」によるこだわりのソーセージは大人気。ギフトや自宅用にもおすすめです。





アート&クラフトコレクション

沖縄市生まれの独創的なアートと工芸品

独創的なアーティスト達が創り出す沖縄市生まれの心躍るアートと工芸品の数々。個性豊かな表現に彩られた魅惑のクリエイションをご紹介します。さまざまな表現者たちがこの街をつくっています。

オーダーメイドジーンズ

岡山県でジーンズ縫製の経験を積んだオーナーが作るオーダーメイドのジーンズは、ジーンズ好きにはたまらない色落ちと縮みが特徴の独特の風合いを持つ昔ながらのデニム生地を使用。ステッチの色やボタンやパッチの種類、バックポケットの刺繍や袋布のデザインをオーダーすると、自分だけのオリジナルジーンズが完成します。

ダブルボランチ
沖縄市久保田 2-30-12



ふるさと納税品

蛇革製品

工芸に魅せられたオーナーが16年勤めた会社を退職し革細工職人へ転身。運・幸運を引き寄せる蛇革を使った財布やプレスレットなどさまざまな商品を長年磨いた技で制作。魔よけの塩が入った「金運ふくろう」と「金運がま口」キーホルダーが人気です。

商品取扱店：コザ工芸館ふんどろ
沖縄市中央 1-11-2

ふるさと納税品

琉球イラストレーション

沖縄の文化や伝統をテーマに、沖縄を代表するアーティストと磯勝之さんが独自の作風で豊かな自然と生命を描く色彩豊かな琉球イラストレーション。絵画の他、iPhoneケース・クッションカバー・バッグなど多彩なグッズを展開しています。

アートギャラリー・ソラノエ+アトリエ・ヨギマ
沖縄市中央 1-17-16



木製インテリア

「木のある暮らし」をコンセプトに、沖縄県産のあらゆる木材を組み合わせて個性豊かな数多くの日常品を制作。木口を使い様々な木の色合いや風合いを組み合わせる模様を作り出す木口の寄木技法と木目の組み合わせによるデザインが特徴。沖縄の伝統織物の特徴的な柄のベンチや雑音を吸収し心地よい音楽を流してくれるBluetoothスピーカーがおすすです。

木工房 秀暖 ~SHUUDAN~ 沖縄市比屋根 7-30-27
商品取扱店：フラッグシップオキナワ(プラザハウスショッピングセンター内)
沖縄市久保田 3-1-12 (1F ロージャースアリーナ内)



三線

戦後の沖縄の娯楽・芸能をリードした「沖縄ポップカルチャー」の第一人者「照屋林助氏」の教えを受け継いだ老舗三線製作専門店の三線は、三線の棹がねじれることがないよう50年以上に寝かせ乾燥させた黒木を使用。音を最優先に考え、木の特性を見極めて時間をかけて最高の音を奏でる三線を提供しています。

照屋林助三線店
沖縄市中央 3-3-3



沖縄市が誇る伝統的織物

知花花織(ちばなはなおり)は、沖縄市知花で18世紀頃に始まった花のような文様が特徴の伝統的な織物で、古くはウスデーク祭祀で祈願の衣装として着用されていました。その後も継承が認められ、2012(平成24)年に国指定の伝統的工芸品に認定されました。

Chibana-Hanaori is a traditional textile that originated in Chibana, Okinawa City around the 18th century. It is characterized by flower-like patterns, and the textile was used to create costumes that were worn long ago when offering prayers in the traditional Usu-deku rituals. Since that time, the Chibana-Hanaori has continued to be passed down, and in 2012, it was nationally designated as a traditional craft.

知花花織(ちばなはなおり)は、沖縄市知花で生産されている伝統的な織物です。かつて、古くから五穀豊穡や無病息災を祈願するウスデーク祭祀で女性たちが着用する花織衣装でした。

知花花織の起源は明確には分かっていませんが、18世紀頃に旧美里村(現在の沖縄市)の周辺で花織が始まったと言われています。この織物の特徴は、布地に花のような文様が織り込まれていることです。知花花織には縦方向に柄が浮き上がる経浮(たてうき)花織と刺繍のように柄を織り込む縫取(ぬいとり)花織の2種類があります。

通常反物では、織り込まれた文様は同じ模様が連続して続きますが、知花花織は琉球王府に税金として納められていた本島南部や首里地域の花織と異なり、徴税の対象となっていなかったため、最初と最後で違う文様が織り込まれることもありました。

2008(平成20)年9月に知花花織事業協同組合が発足。知花花織は2010(平成22)年3月に県の伝統工芸品に指定され、2012(平成24)年7月に国指定の伝統的工芸品に認定されました。現在では主に帯地や着尺の製作の他、知花花織を使用した名刺入れやネックストラップ等も製作されています。



国指定伝統的工芸品 知花花織

Nationally Designated Traditional Craft
Chibana-Hanaori



織り上げた布は洗い張りをして伸ばします。伸子(しんし)と呼ばれるカーブした竿を布幅に渡し、縮みを防ぎながら乾燥させます。こうして布の幅と長さを一定になるように整えます。



Chibana-Hanaori is a traditional textile produced in Chibana, Okinawa City. Since ancient times, the textile was used to make Hanaori costumes for women taking part in Usu-deku rituals that were held to pray for good harvest and good health.

Although the origins of Chibana-Hanaori are unclear, it is said to have started in the areas surrounding the former Misato Village (present-day Okinawa City) in around the 18th century. The distinctive feature of the Chibana-Hanaori is the flower-like patterns woven into the fabric. There are two types of Chibana-Hanaori; the Tate-uki Hanaori, which has embossed, vertical designs, and the Nui-tori Hanaori, in which the pattern is woven like embroidery.

Fabrics normally have the same patterns that are woven in sequence, but unlike the Hanaori from Shuri and the southern region of Okinawa Island, which were paid as tax to the royal government of the Ryukyu Kingdom, the Chibana-Hanaori was not subject to taxation and so, they were sometimes woven with different patterns at the beginning and the end.

In September 2008, the Chibana-Hanaori Business Cooperative was established, and in March 2010, the Chibana-Hanaori was designated as a traditional craftwork of Okinawa Prefecture. Then, in July 2012, it was recognized as a nationally designated traditional craftwork. Today, in addition to the production of Obi fabrics and textiles for Kimono, the Chibana-Hanaori is used to produce business card holders, neck straps, and other items.